

◇名古屋市の水道実績について(愛知県からの提出資料)

第7回部会資料では、平成19年度までの実績で整理していましたが、最新データである平成20年度を追加したものが下図である。

一日平均取水量は、景気の低迷等の影響により、19、20年度は若干減少しているものの、近年はほぼ横ばい傾向にある。

一日最大取水量については、過去の推移を見ると、年度によってバラツキが見られる。

一日最大取水量の平成19年度値を12年度値と比較すると、 $2.69\text{m}^3/\text{秒}$ の減となるが、追加した20年度値と12年度値と比較した場合には、 $1.77\text{m}^3/\text{秒}$ の減となる。すなわち、一日最大取水量の19年度値と12年度値との差($2.69\text{m}^3/\text{秒}$)については、水需要の減少傾向を示しているものというより、その年々の一日最大取水量のバラツキ(負荷率の変動)を表したものである。

こうした負荷率の変動や給水人口の増加など増加要因もあることから、過去実績程度の一日最大取水量が発生することが考えられる。

